

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数・イベント数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT

「江戸前」の魚介類が回復し、「江戸前」の味や文化を享受できる海の達成に向けて江戸前を味わう楽しさや感動の機会、東京湾の漁業生産を取り巻く環境の改善の重要性をアピールするための指標です。

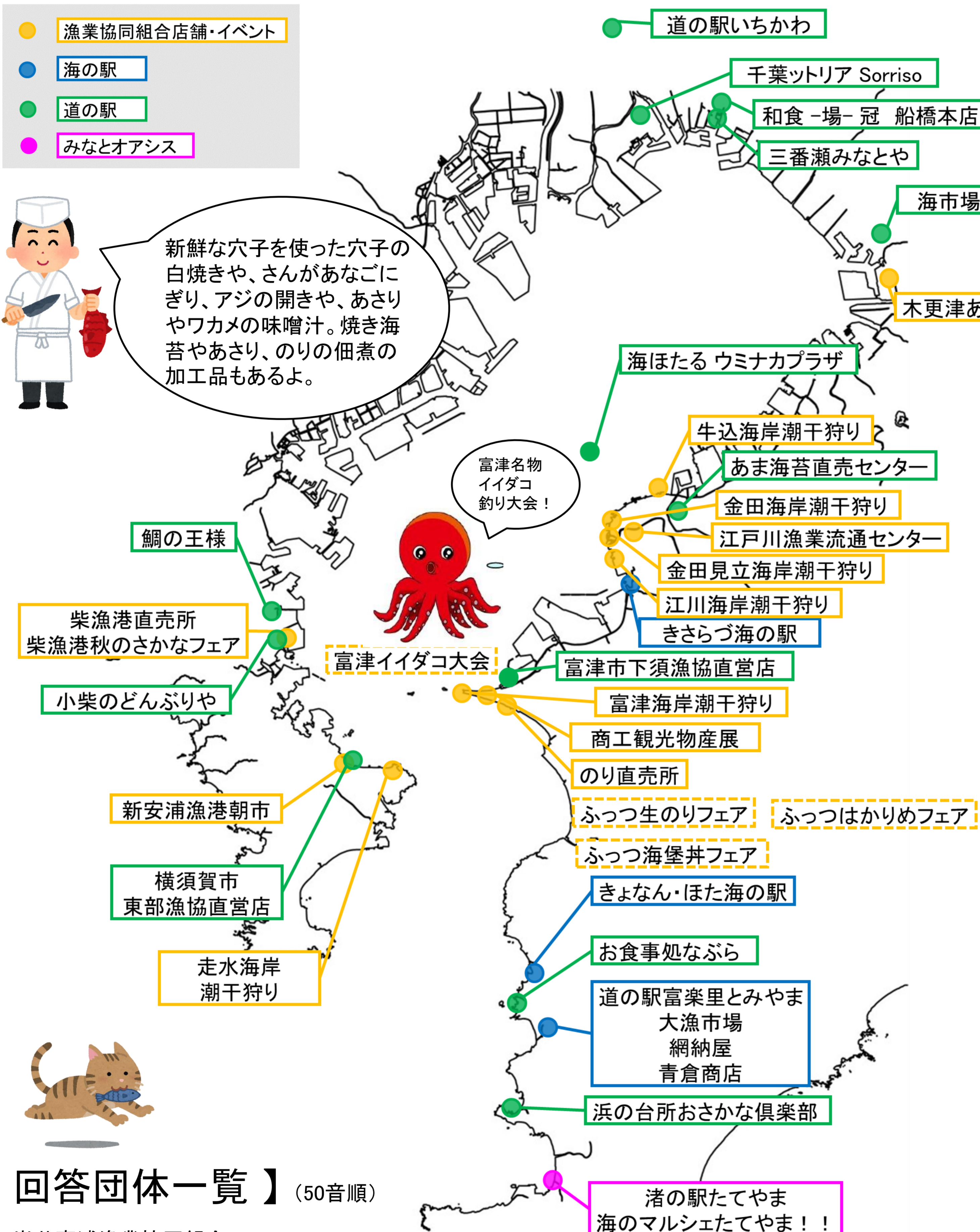
【集計結果】

江戸前の地魚・魚介類の販売箇所数 29 箇所
江戸前の地魚・魚介類のイベント数 61 件

- 漁業協同組合店舗・イベント
- 海の駅
- 道の駅
- みなとオアシス



新鮮な穴子を使った穴子の白焼きや、さんがあなごにぎり、アジの開きや、あさりやワカメの味噌汁。焼き海苔やあさり、のりの佃煮の加工品もあるよ。



群馬県太田市でも特産品を販売したよ！

おた食と光の祭典出展 (焼きのり、のり汁、あさり佃煮他 販売)

太田市スポレク祭 交流都市物産市にて特産品の販売

三番瀬みなとや (キッチンカー)

ふるさと納税 (ふるさとチョイス)

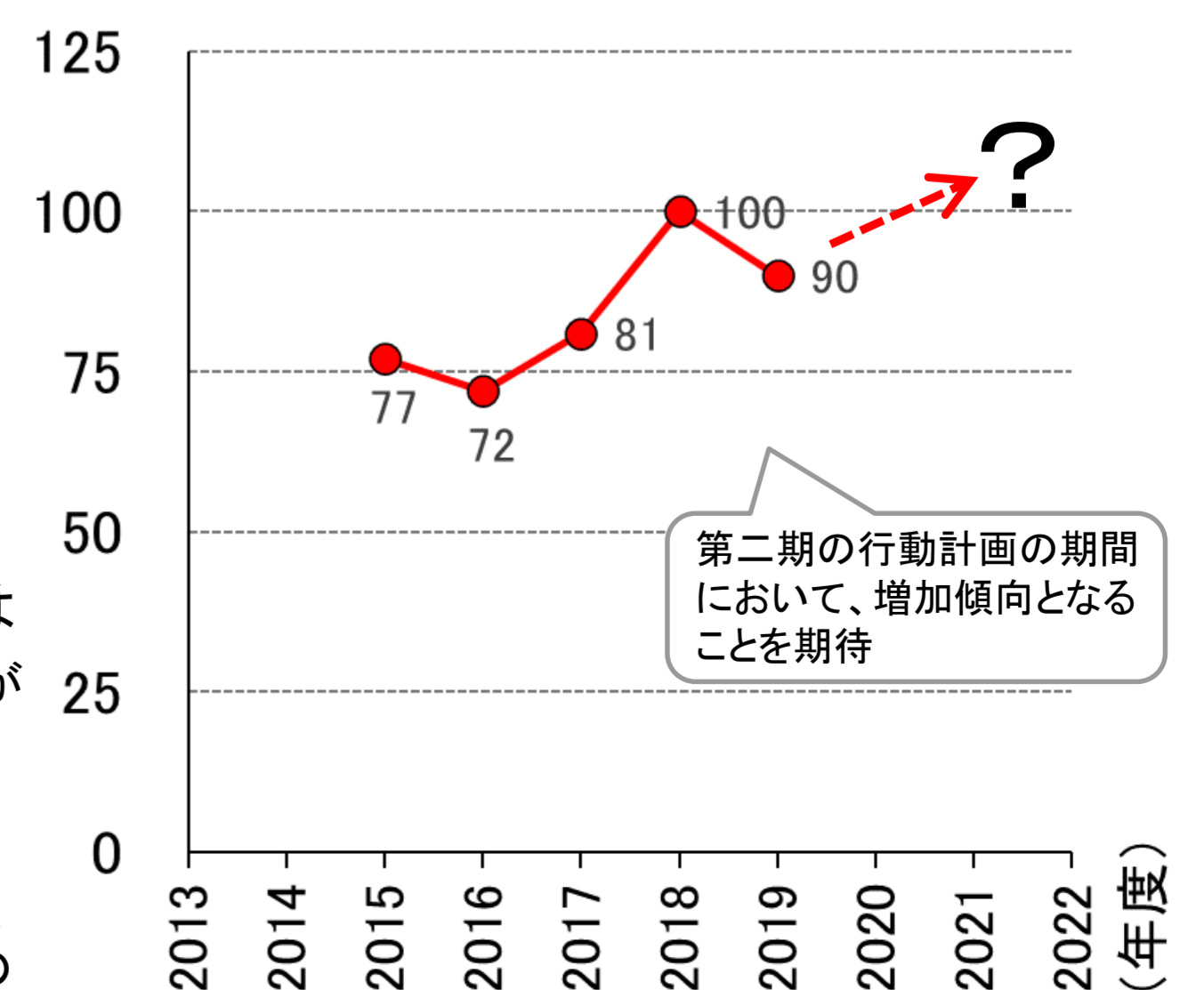
三番瀬で採れた乾海苔など船橋ブランドを販売するよ！

お礼の品として焼海苔や味付海苔があるよ！



新・江戸前名物 ホンビノスガイ

【年度ごとの推移】



第二期の行動計画の期間において、増加傾向となることを期待

【回答団体一覧】 (50音順)

- ・ 岩井富浦漁業協同組合
- ・ 江川漁業協同組合
- ・ 金田漁業協同組合
- ・ 木更津漁業協同組合
- ・ 富津漁業協同組合
- ・ 富津市下洲漁業協同組合
- ・ 横浜市漁業協同組合 柴支所

- ・ その他、プライドフィッシュ公式サイト等のインターネット調査により情報収集



東京湾再生のための行動計画(第二期)とは【快適に水遊びができ、「江戸前」をはじめ多くの生物が生息する、親しみやすく美しい「海」を取り戻し、首都圏にふさわしい「東京湾」を創出する。】ことを目標として、東京湾に関連する関係省庁及び地方自治体からなる東京湾再生推進会議が平成25年5月に策定した計画。計画期間は平成25～34年度(2013～2022年度)までの10年間。